道徳科の実践例（中学校③）

１　本時の目標

(1) 主　 題 　名　遵法精神、公徳心（内容項目〔Ｃ(10)遵法精神、公徳心〕）

(2) 本時のねらい　法や決まりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして規律ある安定した社会の実現に努める態度を育てる。

(3) 資　 料 　名 二通の手紙（出典：「私たちの道徳」）

２　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | ○発問等（◎中心的な発問）　・予想される生徒の反応 | ◆指導上の留意点 　◇評価 |
| 導入 | ○　「二通の手紙」を範読する。  ○　登場人物の人柄について感想を発表しよう。  ・元さんは優しい。  ・お姉ちゃんは弟思い。　等 | ◆触れる人物についてはこちらで指定する。 |
| 展開前半 | ◎　あなたが元さんの立場だったら、子どもたちを入場させますか、させませんか。（ポイント①）  ・入場させる。  ・入場させない。  ○　なぜそう考えたのか発表しましょう。 | ◇自分の考えをもつことができたか。（立場表明・意見） |
| 展開後半 | ○　高校生と子どもが同時に現れたら、あなたは入場させますか。（ポイント②）  ・させる。  ・させない。  ○　元さんに対する処分についてどう思いますか。  （ポイント③）  ・仕方がないと思う。　等 | ◆元さんは処分の後、自ら辞めたということを確認 |
| 終末 | ○　元さんはどういう判断をすべきだったと思いますか。  （ポイント④） | ◇法やきまりの意義を理解し、そのよりよい在り方について考えている。 |

３　授業におけるポイント

|  |  |
| --- | --- |
| ポイント① | ○　自分と異なる意見を知ることで、道徳的価値の葛藤や衝突が生じる場面を多角的・多面的に議論することができるようにしています。 |
| ポイント② | ○　実際の場面を想定することで、道徳的な問題を自分との関わりとして捉えることができるようにしています。 |
| ポイント③ | ○　主人公の置かれた状況や主人公の考えを想定することで、法や決まりの意義を理解し、人間としてよりよく生きる上で大切なことを考えられるようにしています。 |
| ポイント④ | ○　様々な議論がなされた後で改めて振り返ることで、より深く道徳的価値（法や決まり）について考えることができるようにしています。 |

４　模擬授業後の協議で出された意見・感想〔□：よかった点、■：意見等〕

|  |
| --- |
| □　導入では、登場人物の人柄を想像することで、自分との関わりで考えやすくなった。  ■　導入に時間を使いすぎてしまった。  □　展開前半で、登場人物の心の葛藤を考える場面が多くあった。  □　展開前半の発問が適切であり、発問の重要性を再認識することができた。  □　展開前半では、登場人物の心情を自分との関わりとして考えさせ、心の動きを揺さぶっていた。  ■　展開後半の流れについて、発問の意図が、ねらいに迫っているのかが疑問であった。  ■　展開後半において、資料の記述や自己の体験を根拠にせず、想像で話を進めてしまう場面が見られた。 |